

令和5年度 2学期末の学校評価アンケートの結果について

本校では、1学期末・2学期末に児童と保護者の皆様を対象に、「学校評価アンケート」を実施しています。今年度の重点目標として掲げているアクションプラン①「進んで挨拶する」、アクションプラン②「自分のよいところと言える」をはじめ、学校生活全般について質問しました。1学期の数値と比べて評価しています。このアンケート結果を大切にしながら、今後の学校教育活動に生かしていきたいと思えます。

<児童評価>

(%)

項目	R5 2学期 (A+B)	R5・1学期 と比較 (A+B)	項目	A	B	C	D
1	◎	↓	家の人、先生、友達、地域の人に進んで挨拶をしている。「おはようございます」「はい」「ありがとう」※アクションプラン1	48	39	11	2
2	◎	→	学校に来るのが楽しい。	60	29	9	2
3	◎	→	自分のよいところ（得意なこと、できること）と言える。 ※アクションプラン2	57	27	13	3
4	▲	→	「10分間×学年」以上の家庭学習に取り組むことができた。	43	36	16	5
5	☆	→	授業や休み時間には、友達と仲よく活動している。	75	20	4	1
6	☆	→	学校行事が楽しい。	72	19	7	2
7	◎	→	困ったことがあったら、話している。	50	36	12	2
8	◎	↓	時間を守って、しゃべらず、いっしょうけんめいに掃除をしている。	46	42	10	2
9	☆	→	学習や運動、清掃等、何事もやる気をもって取り組んでいる。	56	35	7	2
10	◎	→	休み時間や放課後に、運動をしている。	58	24	13	5

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

☆：AB合わせて90%以上 ◎：AB合わせて80%以上 ▲：AB合わせて80%に達していない

○ アクションプランにおけるアンケート結果について

本校は、二つの「目指す子供像」を掲げ、アクションプランを設定しています。

達成目標：挨拶 80%以上、自分のよいところと言える 80%以上

○ 今回のアンケート結果 ※()は1学期の結果

アクションプラン①「進んで挨拶する」・・・児童 88%(90%)、保護者 86%(86%)

アクションプラン②「自分のよいところと言える」・・・児童 84%(88%)、保護者 84%(82%)

【アクションプラン①】「進んで挨拶する」

児童、保護者共に80%の目標を達成することができました。2学期も児童会が中心となり、挨拶バトンリレーの取組等、挨拶運動の形態を工夫した効果があったと考えられます。また、「あいさつ名人」の検定を継続することで、多くの「あいさつ名人」が誕生し、子供たちの挨拶に対する意識が高まっていると考えます。一方で、多人数で行う挨拶運動では、大きな声で挨拶をしますが、自分から爽やかな挨拶を交わしているのが一部の児童のように見受けられます。そこで学校では、挨拶の本来の意味や挨拶することのよさを考えさせるなど、一人一人が進んで挨拶できるように指導していきますので、ご家庭でも挨拶することのよさを感じるできるように、日常生活で挨拶を交わし、定着できるようにご協力をお願いします。

【アクションプラン②】「自分のよいところと言える」

児童、保護者共に80%の目標を達成することができました。1学期の数値よりも上昇しています。学校では、引き続き全教職員で子供たちのよさを認め、そのよさを本人に具体的に伝えるようにしていきます。保護者の皆様も、お子さんのよいところを認め、伸ばしていけるよう声かけをお願いします。

<保護者評価>

(%)

項目	R5 2学期 (A+B)	R5・1学 期と比較 (A+B)	項目	A	B	C	D
1	◎	→	子供は、家族や地域の人、先生や友達に進んで挨拶することができる。 ※アクションプラン1	42	45	12	1
2	◎	↑	子供は、学校へ行くのを楽しみにしている。	55	35	7	3
3	◎	→	子供は、自分のよいところ（得意なこと、できること）と言える。 ※アクションプラン2	44	40	15	1
4	▲	↓	子供は、「10分間×学年」以上の家庭学習に集中して取り組んでいる。	35	34	23	8
5	☆	→	子供は、友達と仲よく活動したり、遊んだりしている。	71	25	3	1
6	☆	→	子供は、学校行事を楽しみにして、活発に取り組んでいる。	69	26	4	1
7	◎	→	子供は、困ったことがあったら、担任の先生に話している。	36	47	14	3
8	▲	→	子供は、家庭で進んでお手伝いをしている。	27	43	25	5
9	◎	→	子供は、何事にも前向きに取り組んでいる。	37	50	12	1
10	◎	↓	子供は、よく体を動かして元気に遊ぶことが多い。	57	29	12	2

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

【項目4】

児童の評価は、AB合わせて80%を超えているにもかかわらず、保護者の評価は69%でした。宿題を含めて進んで学習していることを見届け、認めてあげることで、子供たちのやる気や学力アップ、自己肯定感の向上につながります。ぜひご家庭でもお子さんの学習に取り組んでいる姿を称賛してください。

【項目8】

わずかですが、児童の評価が下がっていました。学校では、「そうじの達人」等の取組で、一生懸命に掃除に取り組むことができるようになってきています。ご家庭でも、家庭内での仕事を決めて、継続して取り組めるような環境づくりにご協力いただければと思います。